

2022年6月18日（土）
過労死・ハラスメント・コロナ労災110番
全国一斉電話相談実施

2022年6月10日

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-3-1
岩波書店7ネックス7F 東京駿河台法律事務所内
TEL: 03-3813-6999 FAX: 03-3234-9134
URL: <https://karoshi.jp/>
「過労死110番」全国ネット事務局
過労死弁護士全国連絡会議事務局
幹事長 弁護士 玉 木 一 成

報道機関 各位

1988年6月に「過労死110番」が設置されてから満34年になります。

6月に全国一斉電話相談を行うのは今回35回目です。

コロナ感染が続き終息しない状況で、ウクライナでの軍事侵攻による国内外での異変への対応等で深刻な過重労働が生じることが懸念されます。また、職場のハラスメントがあとをたちません。

こうした情勢の下で、今年も下記のとおり、6月18日（土）に全国統一フリーダイヤルによる一斉電話相談（参加窓口：全国35都道府県）を実施します。

一斉相談につきましては、事前報道をよろしくお願いします。

記

- 1 「過労死・ハラスメント・コロナ労災110番」全国一斉電話相談
（主催）・過労死110番全国ネット（過労死弁護士全国連絡会議が中心になって
医師等と連携）
- 2 相談の内容
 - ・業務上の過労・ストレスによる過労疾患・過労死の防止と補償に関する相談。
脳、心臓疾患・呼吸器疾患・精神疾患・自殺（自死）等疾病名を問わない。
 - ・ハラスメント（パワハラ・セクハラ）に関する相談。
 - ・コロナ対策のための過重労働・過労疾患・過労死に関する防止・補償に関する相談。
業務遂行による労働者の新型コロナウイルス感染に関する労災補償相談。
 - ・通勤途中、業務中の過労運転による事故に関する相談。
- 3 相談スタッフ

労災問題に詳しい弁護士・医師・職業病専門家など。

※中央窓口〈東京〉では、特設電話を11台設置し、弁護士、カウンセラーが対応します。

4 日 時（電話受付時間）

6月18日(土)10時～16時 東京など35都道府県で実施

5 相談実施地域

別紙のとおり35都道府県

URL：<https://karoshi.jp/>にも掲載。

当日の相談電話(特設電話)

0120-800-591 (全国統一)

※上記フリーダイヤルは、実施日時以外にご利用になれませんので、ご注意ください。

上記フリーダイヤルにおかけいただきますと、相談電話をした方のお近くの窓口につながります。

東京窓口を指定して電話したい場合は、0120-066-790でつながります。
大阪窓口を指定して電話したい場合は、06-6364-7272（但し、通話料がかかります。）でつながります。

窓口によっては受電時間が異なる場合がありますが、その場合は他の窓口につながるよう設定されています。

事前の問い合わせは、03-3813-6999 へ

常設相談電話〈平日10時から17時〉 03-3813-6999

メールでの常設連絡先 <https://karoshi.jp/> 参照

6 取材上のお願い

- ・中央（東京）での相談会場は、東京駿河台法律事務所（住所上記）。
 - ・当日の取材電話は 03-3813-6999 へ
 - ・テレビの取材の方は、会場整理の都合上午前9時半までにいらして下さい。
 - ・当日の相談内容の速報（全国集計分）は、午後5時半までに厚生労働省記者クラブにFAXで送信します。個別送信希望の方は、事務局（電話03-3813-6999 FAX03-3234-9134）に予め申し込んで下さい。
- メールによる速報連絡を希望する場合は、予めアドレスをお知らせ下さい。

2022年6月18日(土) 10時～16時

過労死・ハラスメント・コロナ労災110番
全国一斉電話相談窓口・連絡先

実施 35 都道府県

 0120 - 800 - 591

※上記フリーダイヤルは、実施日時以外にご利用になれませんので、ご注意ください。

上記フリーダイヤルにおかけいただきますと、お近くの窓口につながります。

東京窓口を指定して電話したい場合は、0120-066-790 でつながります。

大阪窓口を指定して電話したい場合は、06-6364-7272（但し通話料がかかります。）でつながります。

窓口によっては受電時間が異なる場合がありますが、その場合は他の窓口につながるよう設定されています。

2022.6.8現在

	地域	担当者(弁・医・MSW)	実施時間	当日会場	詳細問い合わせ先
1	中央窓口 及び 東京	玉木 一成 (弁)	10:00～16:00	東京駿河台法律事務所	東京駿河台法律事務所 TEL 03-3234-9133 FAX 03-3234-9134
2	北海道	皆川 洋美 (弁)	10:00～15:00	きたあかり法律事務所	きたあかり法律事務所 TEL 011-215-1925 FAX 011-215-1926
3	秋 田	三浦 広久 (弁)	10:00～15:00	秋田中央法律事務所	秋田中央法律事務所 TEL 018-865-0388 FAX 018-865-0386
4	山 形	五十嵐 幸弘 (弁)	10:00～16:00	山形県民主医療機関 連合会	五十嵐法律事務所 TEL 023-643-3783 FAX 023-643-3880
5	宮 城	阿部 潔 (弁)	10:00～16:00	仙台中央法律事務所	仙台中央法律事務所 TEL 022-227-2291 FAX 022-227-2294
6	新 潟	大沢 理尋 (弁)	10:00～16:00	新潟合同法律事務所	新潟中央法律事務所 TEL 025-229-0152 FAX 025-223-3391
7	石 川	徳田 隆裕 (弁)	10:00～16:00	弁護士法人 金沢合同法律事務所	金沢合同法律事務所 TEL 076-221-4111 FAX 076-221-4994
8	富 山	春山 然浩 (弁)	10:00～16:00	富山中央法律事務所	富山中央法律事務所 TEL 076-423-2466 FAX 076-423-0699
9	福 井	海道 宏実 (弁)	10:00～16:00	海道法律事務所	海道法律事務所 TEL 0776-25-7718 FAX 0776-25-7719
10	長 野	一由 貴史 (弁)	10:00～16:00	長野第一法律事務所	長野第一法律事務所 TEL 026-233-0345 FAX 026-233-0340
11	栃 木	小倉 崇徳 (弁)	10:00～15:00	とちぎ総合法律事務所	とちぎ総合法律事務所 TEL 028-612-6130 FAX 028-666-7255
12	群 馬	三角 俊文 (弁)	10:00～15:00	杉原信二法律事務所	みかど法律事務所 TEL 0276-31-5511 FAX 0276-56-9886
13	山 梨	小笠原 忠彦 (弁)	10:00～15:00	甲斐の杜法律事務所	甲斐の杜法律事務所 TEL 055-235-9880 FAX 055-235-9882

	地域	担当者(弁・医・MSW)	実施時間	当日会場	詳細問い合わせ先
14	埼玉	鈴木 満 (弁)	12:00~16:00	埼玉総合法律事務所	埼玉総合法律事務所 TEL 048-862-0355 FAX 048-866-0425
15	千葉	島貫 美穂子 (弁)	11:00~16:00	船橋第一法律事務所	船橋第一法律事務所 TEL 047-435-3681 FAX 047-435-3682
16	神奈川	永田 亮 (弁)	10:00~16:00	横浜法律事務所	武蔵小杉合同法律事務所 TEL 044-431-3541 FAX 044-422-5315
17	静岡	塩沢 忠和 (弁)	10:00~16:00	はままつ共同法律事務所	はままつ共同法律事務所 TEL 053-454-5535 FAX 053-454-5727
18	愛知	水野 幹男 (弁)	10:00~16:00	水野幹男法律事務所	水野幹男法律事務所 TEL 052-221-5343 FAX 052-221-5345
19	岐阜	仲松 大樹 (弁)	10:00~16:00	みずほのまち法律事務所	みずほのまち法律事務所 TEL 058-372-8886 FAX 058-372-8887
20	三重	小貫 陽介 (弁)	10:00~16:00	リベラ法律事務所	リベラ法律事務所 TEL 059-351-8001 FAX 059-351-7499
21	京都	古川 拓 (弁)	10:00~15:00	京都職対連	京都職対連 TEL 075-803-2004 FAX 075-803-2134
22	大阪	上出 恭子 (弁)	10:00~15:00	民主法律協会	あべの総合法律事務所 TEL 06-6636-9361 FAX 06-6636-9364
23	兵庫	相原 健吾 (弁)	10:00~16:00	神戸合同法律事務所	神戸合同法律事務所 TEL 078-371-0172 FAX 078-371-0175
24	奈良	北岡 秀晃 (弁)	10:00~16:00	古都の風法律事務所	古都の風法律事務所 TEL 0742-20-0510 FAX 0742-20-0512
25	岡山	清水 善朗 (弁)	10:00~16:00	木もれび法律事務所	木もれび法律事務所 TEL 086-435-0933 FAX 086-422-5504
26	広島	佐藤 真奈美 (弁)	10:00~16:00	広島法律事務所	広島法律事務所 TEL 082-228-2458 FAX 082-227-8431
27	山口	鈴木 朋絵 (弁)	10:00~16:00	山口県労安センター	鈴木法律事務所 TEL 083-250-6200 FAX 083-250-6201
28	徳島	堀金 博 (弁)	10:00~16:00	弁護士法人 徳島合同法律事務所	弁護士法人徳島合同法律事務所 TEL 088-622-7575 FAX 088-622-7919
29	高知	谷脇 和仁 (弁)	10:00~16:00	高知法律事務所	高知法律事務所 TEL 088-822-8311 FAX 088-873-9013
30	愛媛	弘中 由美子 (MSW)	10:00~14:00	愛媛生協病院	愛媛生協病院医療福祉相談室 TEL 089-961-4238 FAX 089-976-7048
31	福岡	光永 享央 (弁)	10:00~16:00	福岡第一法律事務所	光永法律事務所 TEL 092-534-5432 FAX 092-535-1277
32	佐賀	小山 一郎 (弁)	10:00~16:00	九州鳥栖・芯鋭法律事務所	九州鳥栖・芯鋭法律事務所 TEL 0942-50-8774 FAX 0942-50-8764
33	長崎	中川 拓 (弁)	10:00~16:00	弁護士法人 諫早総合法律事務所	弁護士法人諫早総合法律事務所 TEL 0957-24-1187 FAX 0957-24-5257
34	大分	藤崎 千依 (弁)	12:00~16:00	弁護士法人 渡辺法律事務所	大分フラワー法律事務所 TEL 097-547-8396 FAX 097-547-8397

地 域	担当者(弁・医・MSW)	実施時間	当日会場	詳細問い合わせ先
35 宮 崎	西田 隆二 (弁)	10:00～16:00	弁護士法人 西田法律事務所	弁護士法人西田法律事務所 TEL 0985-29-6077 FAX 0985-29-5811

特徴的な相談例（2021年6月から2022年5月）

2022. 6. 13 会見資料

パワハラ、過重労働

・月100時間以上の残業が続いており、休日出勤も多い。勤務状況の改善を求めて、上司にも相談したが、上司自身も多忙であるとの理由で、適切な対応をしてもらえない（国家公務員、男性、20代）。

・息子が霞が関勤務の国家公務員。時間外が100時間を超え、土日も昼から深夜まで働き、締め切りがある場合は朝帰りや徹夜で仕事をしている（20代、男性）

・他の職員の前で、先輩職員から、「うるせえ」などの暴言を吐かれている。上司に席替えを希望しても、対応してもらえない（地方公務員、男性）。

・複数名で担当していた業務を、一人で担当させられるようになり、うつ病を発病して入院した。通院しながら勤務を継続しているが、体力的にきつい（事務職、男性）。

・コロナ禍で、オンライン授業の準備業務が増加し、長時間労働になった。健康診断で高血圧を指摘されており、胸痛もあるので、健康悪化を心配している（教員、男性、50代）。

・パワハラがむごすぎて社員が疲弊し、退職者が続いている。

・同居している子が会社の立て直し業務で過重労働。平日は朝7時から夜0時まで仕事、土日は遠方に出張。子の労働条件を改善したい。

・3交代制勤務で16時間連続勤務。その後に年休申請をしても認められない（製造業、50代、男性）

・障害者向け福祉施設のサービス管理責任者。理事長に「いらんことするな、だまれ」とみんなの前で怒鳴られた。毎日9時から夜12時くらいまで働き持ち帰り残業もある。睡眠時間3時間しか取れていない（40代、女性）

- ・契約社員。朝8時夜12時の勤務で、残業が月80時間以上。残業代も未払い（飲食、男性）

- ・医療事務。息子が深夜12時まで残業している。土日も休めない。上司らは「自分は2時3時まで働くのが当たり前だった。お前を見ているとイライラする」と言われた（医療、20代、男性）

- ・社長から交際を求められ、断ると業務命令違反と言われるセクハラを受けている（事務、女性）

補償（脳・心臓疾患）

- ・過重労働で高血圧等になり診断書を提出したが会社から解雇通告を受けた。納得できないので解雇の撤回を求めたい（男性）

- ・息子がかなりの長時間労働のため虚血心疾患で死亡。会社はタイムカードを午後7時に押すように言っていた（機械、40代、男性）

補償（精神疾患）

- ・サービス業のマネージャー職として勤務。長時間労働などが原因でうつ病になり、労災認定された。現在は休職中であり、会社からは残業代も支払われていないので、補償を求めたい（サービス業、女性、50代）。

- ・長時間労働で心療内科に通院。現場監督として平日は職場に寝泊まり。残業時間は自分でつけているのが80~100時間だが会社には60時間以下で申告している（建設、男性、30代）

- ・息子がテレワークで、1日16時間就労で適応障害を発症した。

- ・教員として採用されたが長時間労働と、指導・援助のないことによって、短期間でメンタル不調となった。その後の対応も遅く不十分で、異動した先の部署でもまた長時間労働になっている（公務員、教員）

補償（自殺）

- ・社長からの嫌がらせを理由に夫が遺書を残して自死した。労災が認められず、審査請求中。

- ・IT関連企業の長時間労働。帰宅は早くても9～10時、遅いと0時を過ぎていた。遺書を残して自殺（40代）

- ・一人親方の塗装業として確定申告をしているが、実質的にはコンビニを組んでいる相手方にすべて指揮命令を受け、もらい受ける金額、作業内容、シフトも決められている。深夜に危険な高所での塗装を長時間労働で行っていたところで、自死

- ・金融機関職員が時間外労働や仕事の間人間関係に悩み、自傷行為を繰り返すようになり退職を申し出たが、人が足りないと引き止められ、勤務を続けた2ヶ月後に自殺した

。

- ・警察官（40代の男性）の過労自死事件が発生している。

コロナ業務上感染相談

- ・接客業の店長。コロナに感染した。アルバイトには会社が補償したが店長の自分には補償してもらえない。これから労災申請をするかどうか検討する。

コロナ関連の過重労働・危険労働相談

- ・保健所職員として、コロナ感染者の対応に追われ、午後9時頃まで残業をしている。体調を崩して数か月間休職し、復職した。異動の希望を出したが、対応してもらえないので、辞職も考えている（公務員、女性、50代）。

- ・コロナワクチン接種担当。7月末まで休みが一日もない。8時半に出勤して帰宅は遅いと9～10時。残業は120時間を超えている。体重も減少し家族に心配されている。体がつらいので有休をとろうとしてもなかなか取らせてれない（公務員・保健師、40代）

- ・コロナワクチンの業務。時間外労働が月60～70時間、土日休みもなく、とてもしんどい。なんとかならないか（公務員）

- ・子が公務員。コロナ対応のため所属部署から人が減り、100時間以上の残業が続いて不眠の症状が出ている。

- ・コロナワクチン接種業務のため、休日出勤を命じられるが、法定休日の補償も

なく休めない。

- ・福祉事務所勤務。コロナ禍で生活保護の申請数が増加し、長時間労働でうつ病になった。残業代の支払いも不十分。

- ・テレワークになって、注文や問い合わせが集中し、コールセンターのようになって仕事が溜まってしまう。時間外労働に対しても賃金が支払われない。外線番号が携帯に転送されてくる。派遣社員で弱い立場なので、会社に申し出ても在宅勤務には残業は認めないといわれる。

コロナ関連のその他相談

- ・コロナワクチンを打ちたくないが、職場で「なぜ打たないのか」と言われている。打つかどうかは自由のはずではないのか（女性）

- ・コロナで店舗が休業となり、その分の手当てが支払われない。

- ・コロナで取引先の経営が悪化したので、退職勧奨を受けている。

- ・介護タクシーの自営業。医療機関との往復や県外の家族を乗せるなど感染リスクが高いのに、ワクチン接種や感染防止対策を図ってもらえない。労災特別加入制度をも知らず、困っている。

以 上